



ふるさと

吉田 稔筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成19年10月 No.83

●編集・発行

柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内
☎ 04-7174-7211

お姉さんといっしょ 楽しいな！ 大好評の『ちびっ子体操教室』

「おはようございます！」

講師の石原由起子お姉さんのあいさつに、元気な声と大きな音の手拍子、そして両足で床をたたく子供たちの返事が増尾近隣センター体育室に響きます。

平成19年7月8日『ちびっ子体操教室』が増尾地域ふるさと協議会主催により開かれました。参加者は0歳か



手を打ち、足を踏み鳴らしてごあいさつ

ら6歳までの幼児と、保護者のお母さんやおじいちゃんを含めて38名でした。

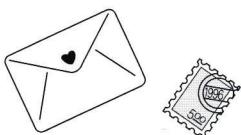
アンパンマン踊り、親と子のだき込みポーズにおんぶのポーズ、ハードル跳びやダンボールキャタピラなど跳んだり、走ったり、転んだり。元気いっぱいの子供たちに誘われて、お母さんはもちろんおじいちゃんまでが仲間入りの大ハッスル。休憩をはさんでの1時間30分はあっという間。

帰りに参加賞の折り紙とシャボン玉セットを受け取った子供たちはまたまた大喜び。さらに、会場でのスナップ写真を展示し、希望者には無料でどうぞ。こちらは保護者に大好評でした。

文化体育部部長 高萩郁勇



ダンボールキャタピラ「上手でしょ」



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

名戸ヶ谷町会

名戸ヶ谷町会は40数年ほど前には、里山や田園風景のあるのどかな町会でした。

今でも名戸ヶ谷小学校付近には田園風景が残っているとはいえ、昭和52年度頃からの土地区画整理事業による新柏駅の開業とともに駅前には高層マンションやアパート、住宅が建ち並び、目を見張る地域となりました。新柏さくら通りに面した新柏1丁目から新柏4丁目がその地域です。

新柏地域には当町会をはじめ3自治会が混在し、独自の活動を行っています。

町会活動としては納涼盆踊り大会、抽選会、そして、親子会によるクジ引き、第4地区青少協による「三世代ふれあい運動会」への参加が主な行事となっております。

私どもの町会も各町会、自治会と同様に少子高齢化の波は否応なしに押し寄せて、行事等の開催も危ぶまれて来ております。今後は町会員の意識の多様化の中で、町会活動に多くの住民が楽しく参加できるかを模索しているところです。 会長 大久保興一



普通救命講習会 17名受講しました

平成19年8月22日、柏市消防本部主催の救命講習会を増尾地域ふるさと協議会の部員17名が受講しました。ビデオ説明に始まり、人工呼吸・胸骨圧迫による心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを体験しました。

救急車が到着するまでの平均時間6分、この間に心肺蘇生法、AEDでの除細動を行うことで生存率も大きく変わると実習にも力が入りました。現在、AEDは柏市内の全近隣センターと全中学校、一部小学校に設置されており、今後も増設していくことです。一人でも多くの方が受講することで、身近かに起るかもしれない非常事態に対処出来るのではないかでしょうか。

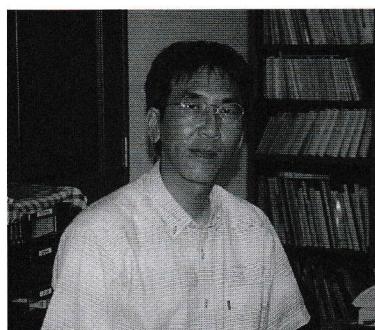


みんな真剣に受講しています

まちじまん

おらが町の音楽家

増尾町会 田嶋 勉さん



柏生まれの柏育ち。地元の音楽教師笠井一郎先生に音楽の手ほどきを受けて、この道に入られました。

高校時代から作曲活動を開始し、今では多くの作品が全国各地で演奏されているそうです。

また、現在は全国高校吹奏楽コンクールで何度も優勝している市立柏高校吹奏樂部の顧問をされており、来年シンガポール公演に向けて新作に取り組んでいるとのことです。

視察研修は サイエンス・スクエアつくば

本年度事業計画による日帰り視察研修が平成19年7月11日に実施されました。

雨が小止みの朝35名を乗せたバスは予定通り出発、道路の混雑もなく目的地である筑波学園都市サイエンス・スクエアつくばに早めに到着しました。早速館内に入ると、二つのグループに分かれて、二人の職員の案内で展示物の解説が始まりました。

館内いっぱいに最先端の研究開発に関する情報端末や多くの体験コーナーが設けられており、ひとつひとつ職員の分かりやすい説明に耳を傾け、日本の技術水準の高さに感心しました。特に驚かされたのはロボットの進化です。歩くだけでなく、柔軟な動き、空手の足蹴り、踊りなど、何でもこなす体の動きには全員驚嘆しました。

次に地質標本館に向かいました。ここでも職員の案内による解説があり、日本の地震の多さを知らされたり、私たち人間が、いかに多くの資源の恵みを地球から受けているかを学びました。

午後は、常総市（旧水海道市）に移動して、水海道風土博物館『坂野家住宅』を見学しました。約300年前に建築された大型住居としては、現存するものが珍しく、昭和43年に「母屋」と「表門」が国の重要文化財に指定されています。豪農の館にふさわしい構造が見られ、格式の高さがうかがわれて、当時の生活をしのぶことができました。



往時の豪農の暮らしをしのばせる坂野家の格式の高さ

踊りだ！ 太鼓だ！ 祭りだワッショイ！

酷暑を吹き飛ばすような力強い太鼓の響きと大きな掛け声。今年も恒例の夏祭りや盆おどりが各町会で催されました。

松野台自治会の夏祭りは7月21日～22日。加賀町会の

夏祭りは8月4日～5日。南ヶ丘自治会の夏祭りは8月18日。増尾町会の盆おどりは8月18日～19日。そして名戸ヶ谷町会の夏祭りは8月25日～26日。いずれの祭りも盆おどりも熱帯夜に負けない盛況でした。



着いのゆかたで、今年もさっそうとパレード



◀踊り疲れて皆さんはちょっとひと休み。それでも私たちはまだまだ……

▶ウオー、ゴジラだぞ！ よーし、みんなでゴジラ退治だ。がんばろう！



ヨーヨーいくつ釣れるかなア



暑さにも負けず大熱演の土中プラスバンド

増尾西小学校創立30周年 おめでとうございます

増尾西小学校の創立30周年記念式典は、平成19年11月10日（土）に予定されています。

同校は、昭和53年4月に増尾地域の人口増とともに、土小学校の分離校として開校、児童数898名で発足しました。

現在は637名20学級の児童が在籍し、学区は加賀、松野台、木戸前、増尾、柏楽園、逆井、逆井北、三愛、サンライフ柏台などの各町会ならびに自治会からなっています。また現校長は11代目で、松本敏先生が務められています。

参考までに、旧土地区の小学校について調べますと、この地域の住宅開発とともに、住宅地の発展、児童の増加により、昭和32年の光小学校からはじまり、土南部小学校、柏第八小学校、藤心小学校、中原小学校、増尾西小学校と6校の分離が行われました。現在、旧土地区には、このほか名戸ヶ谷小学校、逆井小学校、酒井根小学校、酒井根西小学校、酒井根東小学校があり、土小学校1校から12校になったわけです。

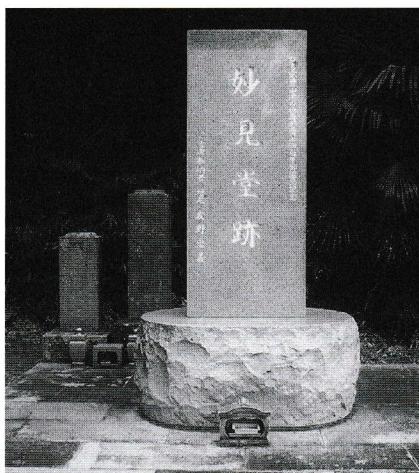
ふるさと増尾 訪ね歩き

—妙見堂跡—

開運厄除妙見菩薩は全国各地に安置されていますが、増尾の本郷にも妙見堂があり、安置、鎮守されていました。ところが建物が古くなり、倒壊の危険があるため、昭和58年に取り壊し、平成14年に萬福寺境内に妙見堂が新築され、安置されました。

この妙見堂跡は美里ゴルフセンター横の道を入って行くとあります。石塔の裏側には友野忠義建立と書かれておりました。

(増尾ダイヤモンドクラブ資料参考)



竹林が荒れていませんか

最近、あちこちで荒れ放題の竹林を見かけます。所有する農家の方が高齢化して、なかなか手入れが行き届かないからではないでしょうか。

私たちダイヤモンドクラブの竹炭グループは、古里の竹林を守り、いろいろと有効活用のできる竹炭と竹酢を作ることを目的にした仲間です。もし、お宅の竹林が、人手がなくて荒れているようならば、年に一度、竹を切らせていただき、竹林を管理するお手伝いをします。どうぞご連絡ください。

連絡先	伊藤泰彦
住所	〒277-0033 柏市増尾4-11-22
電話	04-7172-4144
携帯電話	090-5496-8187

水を大切にしよう！

近年、世界中で洪水やら干ばつなどと、水に関するニュースが伝えられますが、これも地球の温暖化によるものなのでしょうか。

雨が降らず水不足にでもなったらどうなるのかちょっと心配。近くの中原中学に第三水源地があるものの、はてどんなものなのでしょう。

そこで、地下水の状況など柏市の水道について尋ねてみようと思い立ち、千代田町にある水道部に立ち寄ってみました。

柏市内には44本の井戸があり、昭和50年度は100パーセント地下水からの取水で間に合っていましたが、人口増とともに水の需要も増え、平成16年度は65パーセント河川水を混合し、さらに年々混合率が増加しているそうです。

河川水は、利根川水系江戸川から北千葉広域水道企業団が取水浄化したものを受けているとのことです。

また、地下水の浄化と合わせて、たいへんな費用がかかっています。さらに、ダムの水不足や地下水の減少も心配です。水が私たちの所にくるまでの費用と手間を考えると、水のありがたさがよくわかります。

水を大切にしよう。おいしい水を保つためにも！

おわびと訂正

本紙82号の平成19年度役員・部員紹介記事で副会長および総務広報部長に「曾澤和雄」とあるのは「會澤和雄」の誤りでした。おわびして訂正いたします。